

私たちの暮らしからプラスチック問題を考える

浜松篠原海岸の浜砂からプラスチックを探す体験

2020年9月5日 午前9時（台風10号到来前）

篠原海岸の海岸線から30m周辺の浜砂からプラスチックを探すために
10m×5mの範囲を決めて浜砂を

約10.15kg回収しました。（深さ2～3cm程度）



前回に比べ海岸線が内陸になっていました。台風の影響が考えられます。
また、波打ち際付近は、波が流木やごみをさらい、きれいになっていました。



回収した浜砂は、9月13日（日）浜松市市民協働センター ボラクエのメンバーによる
「浜砂からプラスチックを探す」体験講座に使用しました。



浜砂からプラスチックを探す体験講座参加者(23名)の感想

NO	学年	感想
1	高校3年生	大きなごみは、すぐにみつけることができ、沢山探すことができたが、小さなごみよく目を凝らさないといけなく大変だということが分かりました。また、1.2kgほどやりましたが、小さいごみも沢山あり、砂浜にはこんな沢山のごみがあることをあらためて知りました。
2	中学1年生	見た目はとくに何にもない砂だったけど、沢山のごみが、あの中に入っていて、驚いた。
3	中学2年生	発泡スチロールとプラスチックの白が一番多かったのです。一つ一つが細かったので、探すのが難しかったです。被覆肥料が多かったと聞いていたけど、みたら一つしかなかったです。
4	中学1年生	きれいに見えた砂にもプラスチックが沢山混ざっていることを学んだ。 ザルでもとれないプラスチックが多くてとるのが大変だった。
5	高校1年生	大きなゴミから、小さなゴミまで様々な種類のゴミが見つかった。ほんの一握りの砂から多くのゴミが見つかった。砂浜全体を見たらとんでもない量のゴミなることが推測できる。
6	中学2年生	意外に沢山あった。ストローなどは、腐った(?)ようなものもあった。どうやって小さくなるのか、何となく分かった。
7	高校1年生	砂の中には、大量のプラスチックがあることが分かった。 自分達の生活のせいで海の生物に影響していることを再確認した。
8	中学1年生	見本と比べても、何のプラスチックなのか、石や木なのか簡単に見分けることが出来なかった。
9	高校1年生	発泡スチロールが沢山あること。 レジンペレットって言うものを知った。 プラスチックは、とても小さいものも沢山で、それが海洋汚染の原因になっていることを知った。
10	高校1年生	砂の中には思っていたよりも沢山のごみが入っていたのでとても驚いた。 環境問題について知るいい機会になった。
11	中学3年生	今までは砂浜に落ちている大きなゴミ以外はすべて砂だと思っていた。だけど、今回の体験でとても多くのプラスチックなどが混ざっていることを初めて知りました。 そしてそのプラスチックゴミなどを海の生き物が食べ、問題になっていることを実感しました。
12	中学3年生	プラスチック破片が多くとても小さいので魚がまちがえて食べてしまうのかもしれないと思った。 プラスチックなどが落ちているのは人間が捨てているからであって、魚やカメは悪くないので生き物の命を守るためにもプラスチックを海や道路に捨てないで欲しいと思った。
13	高校2年生	プラスチックの種類を見分けるのが大変でした。 単にプラスチックゴミではなく、その中でも種類分けがあることを知りました。 大きなゴミ(キャップなど)だけでなく、一見きれいに見える砂でも、ふるいにかけて、仕分けしてみると沢山のゴミが混ざっていることを知りました。

NO	学年	感想
14	高校1年生	浜の砂には少量でなにもないように見えても小さなごみが多く含まれている。取り除くのは、かなり大変だった。
15	中学1年生	手が砂だらけで大変だった。プラスチックが沢山あった。
16	高校2年生	仕分けをしてみて、プラスチックだけでも大量に種類があることは知っていましたが、一部だけとはいえずやってみてかなりつらい作業だなと思ったので、体験してみて、学べてよかったです。
17	中学1年生	大きい物から小さく細かなものまで、違うものがあつた。普段、気にしていない砂浜に沢山のゴミが落ちていることが分かった。いつもきれいだと思っていた砂の中にも、プラスチックや発泡スチロールなどが多く入っている。
18	中学3年生	思っていた以上に小さいプラスチックがでてきて大変だった。赤や青、緑などカラフルな色がいっぱいであつた。
19	中学2年生	小さなプラスチックが多く、なんなのか分からないものも多くありました。小さなプラスチックも、もとは大きなものだったろうし、色も違うものだったかもしれないと思うと海に捨てた人はこうなることは考えていなかったんだろうなと感じることができました。
20	中学2年生	自分が思っていたよりも小さなプラスチックが沢山あつたので、びっくりしました。大きなプラスチックから小さなプラスチック。色で分けるのが大変でどれなのか分からないものまでありました。体験してみて分けるのがとても大変でした。
21	高校1年生	石とプラスチックの区別がつかなかった。 被覆肥料が少なかった。 この砂が海のさかいの砂なのか、もう少し遠いところにある砂なのか気になった。
22	高校1年生	海洋プラスチックは発泡スチロールやビニールの破片、色つきのプラスチックが多いということが分かりました。また、初めて知った田んぼで使われる肥料も多く見分かりました。 海洋プラスチックは軽いと海岸まで運ばれて人間の手でとることができますが、重いと海に沈んでしまい魚が食べてしまう危険があるのでこわいなと思いました。
23	中学3年生	大きなプラスチックからとても小さなプラスチックまで様々な大きさのプラスチックが、砂の中に入っていることが分かりました。とても小さいので、人の目では判別しにくく動物も判別しにくいので、人間や動物にとって有害な物だと感じました。 この経験をして、プラスチックはとり除くことが難しいと感じたのでポイ捨てはとてもダメなことだと感じました。